

農地・水・環境だより 秋号 (第23回)

平成23年10月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

◆地域のため池管理を通じて 奥能登支部【美鈴の里】

珠洲市若山町鈴内地内にある活動組織「美鈴の里」は、自然環境の保護と地域住民との交流を深める目的を兼ねたため池に鯉の放流を実施している。当地区の開水路はU字溝が布設され、生物が育ちにくい環境であるため、今年度も地域住民によるため池周辺の草刈等の活動のあと、8月に稚魚1,000匹を放流しました。(写真)

今年は地域住民の他に東京から宿泊されていた親子連れの家族の参加もあり、例年以上に盛況に行われました。

子供達は直接鯉に触れる事ができ大喜びし、「元気で大きくなれよ」と声をかけながら放流作業に取り組んでいました。また東京から参加の親子連れの家族は、普段見ることのできない農村環境に感動し、また機会があれば是非とも参加したいと大変満足されていました。



◆地域のみんなで楽しむ魅力ある農村に向かって

南加賀支部【梯川右岸大地資源保全会】

小松市の「梯川右岸大地資源保全会」では、地域と農業者の交流第5回の稻刈り体験会を8月20日開催しました。子どもから年配者の幅広い交流と、次世代農業経営者育成も狙いですが、みんなで楽しめる機会として、年々継続しています。

MROやHABのテレビ局はじめ各新聞社の取材もあり、地域の盛り上りも最高で、5月2日にみんなで田植えをしました。素足で田んぼの温もりあじわい、稻の生長観ながら収穫を楽しみしていました。



素手で稻ワラをつかみ鎌で素早く刈り取っています。年配の方も子どもたちといっしょに稻刈りされる光景(写真)は微笑ましいかぎりです。

この農地・水環境向上対策活動で新たな畦畔緑景観保全部会も発足しました。除草剤防除抑制指導と畦草刈推進強化活動、特に農道や水路際の草生畦畔育成と指導の活動を行っています。緑畦は景観も良好なるも、農道・水路など農業生産プラントの保全管理に大きい効果があります。農村のナチュラルな環境や景観が増すことで散策やランニングを楽しむ地域の人々が増えてきました。

これからも、地域の理解と親しみによりもっと多くの様々な人たちが楽しい農業生産・農村資源の財産を共有し、併せて環境にやさしい有機農業に積極的チャレンジしていきます。

◆農地を守るための活動

県央支部【下安原町水土里の会】

金沢市の西部に位置する下安原町は砂丘地園芸地帯であり、露地ではスイカや大根等が、施設ではメロン、花き等が栽培されています。また、生産部会等役員の平均年齢は40歳台前半と若く、非常に活気のある地域です。

農地・水・環境保全向上対策によって管理されている本地区の農業生産施設や農村環境は、地域住民はもとより、訪れる人々にゆとりや心の豊かさを与える貴重な財産となっています。

この環境を守るために、「下安原町美土里の会」では、不法投棄などのゴミの点検・除去活動（写真）や花苗の植栽活動など、農村環境向上活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動には、若い親子や高齢者など農業者以外の地域住民もハイキングを兼ねて多く参加しており、集めたゴミについても分別収集するなど、地域のボランティア意識の向上にもつながっています。



◆ホタルの生息観察会について

中能登支部【黒氏農地・水・環境保全推進協議会】

中能登町のほぼ中央部に位置する「黒氏農地・水・環境保全推進協議会」は水田に囲まれた集落ですが、農作業の省力化や外で遊ぶ子どもたちの減少などにより、地域住民にとって農村は近くで遠い存在になりつつあると感じています。地域では大区画整備事業が完了し、営農は担い手中心となり、農村がさらに遠い存在になってきています。そうした状況のなかで、農地・水・環境保全向上対策の生態系保全活動の一環として、ホタルの生息観察会を地域が一体となって取組みました。ホタルに詳しい講師を招いて（写真）、ホタルの生態、調査方法を学んだうえで、観察会を実施しました。



この観察会を通じ、田んぼの環境やそこに生息するホタルに触れることができ、環境の大切さもあわせて学ぶこととなりました。

黒氏地区では、今後もこうした活動を通じて地域のつながりを大切にし、農村環境を守っていきたいと考えています。

【事務局からのお知らせ】

さて、本年2月末日には「体制整備構想」の提出時期（活動5年目）でもあります。各種の総会等で、構想についてよりよい環境づくりに取り組んでいけるよう幅広い地域住民のみなさんによる意見交換を行い、構想の作成をお願いいたします。

また、引き続き各地域の活動紹介にもご協力お願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹